



第3回 ツーリズムガイド人材育成
初級セミナー
『厳選3作品』

ロシアから
日本を救った
モンスター
ゴールド
気仙沼鹿折
金山



キャッチコピー

ロシアから日本を救った
モンスターゴールド 気仙沼鹿折金山

写真

鹿折金山資料館

メッセージ

- 日本のピンチを救った
- ピンチ1回目は、聖武天皇時代の最悪な状態だった日本を、大仏様で救う。その大仏様に使われた金が「みちのくから金がみつかった」
- 2回目は、日露戦争で日本が戦争するための金(かね)がなかった。そこで抵当として救ったのがこの金と玉山金山の金で勝利を勝ち取った
→金にまつわる日本を救った歴史

講評

- まずモンスターゴールドという言葉にパンチ力があると思います。それって何？知ってみたいという気持ちにさせてくれます。
- そのモンスターゴールドがロシアから日本を救ったというのも人々の歴史好奇心を掻き立てるのではないのでしょうか。
- 写真はモンスター感が出るように超アップか、サイズ感がわかるよう何かと対比しても面白いかもしれません。
- ライティングを上手くあてて金塊の質感を出しつつ、金の“色”の存在感を一面に押し出してはいかがでしょうか。



キャッチコピー	「みちのくGOLD天平ロマン 現代の金奈良へ砂金体験」
写真	涌谷町の金にまつわる各所の写真
コメント	• GOLDは物だけじゃない、人もGOLDである • 天平ロマン館の写真→施設をしっかりと手入れして守っているのは人々の力 • 金色のポストの写真→古川にもあるが採用してほしい • 砂金体験の写真→インパクトのある体験なので、観光客にぜひやってほしい • 金箔のミニチュアをお土産にしたらいいいのでは無いか • 奈良の大仏に米を献上するなど、歴史ある物事をもっと採り上げたい

講評



- 昔に見いだされた金の存在を現在まで守り、未来へと繋げる重要な役割はまさに「人」だと思います。
- そういった地元の人々に焦点をあてたポスターなどがあっても非常に面白いと思います。
- 写真に関しては何枚も入れてしまうと逆に各々の存在感が薄れてしまうような気がしますので、砂金体験の風景をモノクロ写真で撮り、砂金の部分だけ金色にするとコントラストが生まれて面白いかもしれません。



第3回 ツーリズムガイド人材育成
初級セミナー
ポスター作品 気仙沼

見て 触れて 感じて



みちのく
コールド ロマン

2010-5-11 5時

作品
NO.

気仙沼 1

キャッチ
コピー

「見て、触れて、感じて」

写真

鹿折金山の坑道

メッセー
ジ

- この写真だけでは、なにもわからないと思う。そうすると「何かな」と思って、反対に目を向けると、そこには「坑道」がある。
- 紙をモンスターゴールドの形に切り、黒の大文字でシンプルにキャッチコピーをつけた。



作品 NO.	気仙沼 2
キャッチ コピー	「ふ (Fu-) れてみませんか？」 東北のGOLDロード 古くて新しい発見に 心ふ (Fu-) るえる (Fu-)
写真	パット目に着いたものを選びました
メッセージ	• Fuに関心を寄せた。お客様はよく「ん～」のように感嘆また納得、相槌を打つ。その表現をFuに見立てた。 • この「ん～」の納得を誘うように工夫した。

“日本の産業の原点” (金産業)
(金文化に関する)



気仙沼市鹿折“金山” (資料館)

作品 NO.	気仙沼 3
キャッチ コピー	「日本の産業の原点」 (金産業) (金文化に関する)
写真	気仙沼市鹿折“金山” (資料館)
メッセ- ジ	- 一番伝えたい部分「気仙沼は金の発祥地」 「6分の1となったモンスターゴールドのストーリー」を掘り起こすと、昭和時代から産業として成立した金山の歴史も知れる。 - 平泉の中尊寺などが金として一般的に知られているが、涌谷と気仙沼の金の発祥地、その歴史を知ることが大事。

日本を世界に知らせる。
東北黄金文化



作品
NO.

気仙沼 4

キャッチ
コピー

日本を世界に知らせた
東北黄金文化

写真

涌谷と気仙沼の繋がりがあったから
こそ選んだ写真「天平ろまん館」

メッ
セージ

- 日本が世界に知られたきっかけは、マルコポーロが「日本で金がたくさん取れた」ことを本に書いたから。
- 「セバスティアン・ビスカイノ」という人が金を取るために気仙沼に来た。それは、気仙沼という言葉が始めて外国人に知られるきっかけ。
→ 宣伝するべきだと思う！





第3回 ツーリズムガイド人材育成
初級セミナー
ポスター作品 南三陸

ロシアから
日本を救った
モンスター
ゴールド
気仙沼鹿折
金山



作品NO.	南三陸 1
キャッチコピー	ロシアから日本を救った モンスターゴールド 気仙沼鹿折金山
写真	鹿折金山資料館
メッセージ	• 日本のピンチを救った • ピンチ1回目は、聖武天皇時代の最悪な状態だった日本を、大仏様で救う。その大仏様に使われた金が「みちのくから金がみつかった」 • 2回目は、日露戦争で日本が戦争するための金(かね)がなかった。そこで抵当として救ったのがこの金と玉山金山の金で勝利を勝ち取った →金にまつわる日本を救った歴史

日本で
最初に
金が発見
された
奥州涌谷
大仙様
のお身を
とむ



作品NO.	南三陸 2
キャッチコピー	日本で最初に“金が発見された”
写真	涌谷の金の鳥居
メッセージ	- 日本で初めて涌谷で金が出てきた - とても天皇が喜び、大伴家持が反歌を詠んだ「すめろきのみよさかえんと あづまなる みのくのくやまに くがねはなさく」



田束山は三つの顔がある

- 1 奥州藤原氏の信仰の山である
(11基の教経塚が存在する)
- 2 その時代京摂関家の荘園
(ゴールの桃源郷)である
(砂金及び東北の名馬生産地)
- 3 龍にまつわる地名の原点の地

作品NO.	南三陸 3
キャッチコピー	
写真	田束山の経塚
メッセージ	• 一番強調したいのは「11基の経塚」 • 田束山は3つの顔がある ①奥州藤原氏信仰の山 →田束山とは切っても切れない縁がある ②その時代京都摂関家の荘園である (ゴールの桃源郷) →牧場、茅、砂金や名馬の生産地 ③龍にまつわる地名の原点の地 →田束山を中心として広がっている



金^ッは私達に何をもたらしたのか？
 夢？それとも未来？この道をたどりながら
 歴史とロマンを私たちの手に！

作品NO.	南三陸 4
キャッチ コピー	“金”は私達に何をもたらしたのか？ 夢？それとも未来？この道をたどりな がら歴史とロマンを私たちの手に！
写真	平泉の金色堂
メッセージ	※なし



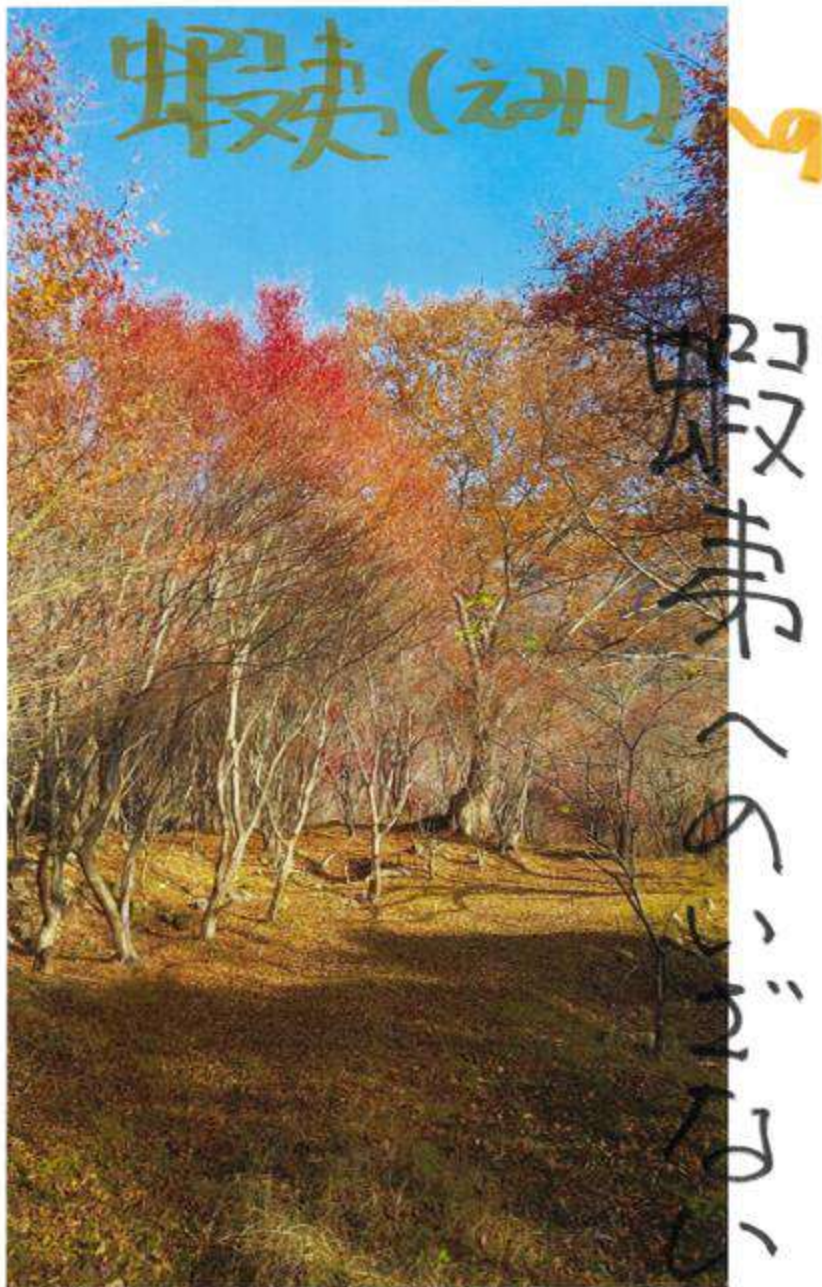
第3回 ツーリズムガイド人材育成
初級セミナー
ポスター作品 陸前高田



作品NO.	陸前高田 1
キャッチコピー	華やかなる金山跡
写真	玉山金山にある「千人坑」
メッセージ	この場所で、千人もの人が働いていた、華やかなイメージ



作品 NO.	陸前高田 2
キャッチ コピー	山の神への感謝
写真	玉山金山にある 「玉山神社入口」
メッセー ジ	• 金が採れた（金だけではないが） • 金山も含めてこの山を守ってくれていることへの感謝を表した



作品NO.	陸前高田 3
キャッチコピー	蝦夷（えみし）へのいざない
写真	「玉山金山」紅葉の風景
メッセージ	・ 奥行きがあって「蝦夷へのいざなう」という感じ ・ 誘い込むような感覚



いわて、
玉山の地から
「黄金」
物語の
入口へ

作品NO.	陸前高田 4
キャッチコピー	いわて、 玉山の地から黄金物語の入口へ
写真	玉山金山 「玉山神社」
メッセージ	- 玉山は他の地域からすると弱い感じがしたので、“岩手”という言葉を用いた - 玉山の地から金山を辿る→黄金の物語の入口を示した、入ってみませんか？という表現にした



石川啄木の一握の砂と砂金をかけた
 砂山→玉山(金山)・砂→砂金・水晶
 玉山のいただきに登り
 なにがしに帽子を
 ふれ下り来しかな

作品 NO.	陸前高田 5
キャッチ コピー	玉山のいただきに登り なにがしに帽子を ふれ下り来しかな
写真	玉山金山 「玉山神社」
メッセー ジ	- 石川啄木の一握の砂と砂金をかけた - 砂山→玉山(金山)、砂→砂金や水晶 - 名だたる文化人の言葉を引用して、うまくお客様のイメージに沿って考えるとおもいろいろではないか

砂金のとれる溪流の写真

一握の砂金を示しし
人を忘れず

陸前高田歌碑になっている石川啄木の
一握の砂から引用して
そこには山や水晶、砂という言葉がよく出ている

作品NO.	陸前高田 6
キャッチコピー	一握の砂金を示しし 人を忘れず
写真	なし (砂金の採れる溪流の 写真があれば)
メッセージ	- 陸前高田歌碑になっている石川啄木の「一握の砂から」を引用した - そこには砂山や水晶・砂という言葉がよく出ているため陸前高田に近いイメージをもったため



第3回 ツーリズムガイド人材育成
初級セミナー
ポスター作品 平泉

みちのくGOLD浪漫
もう一つの金色堂

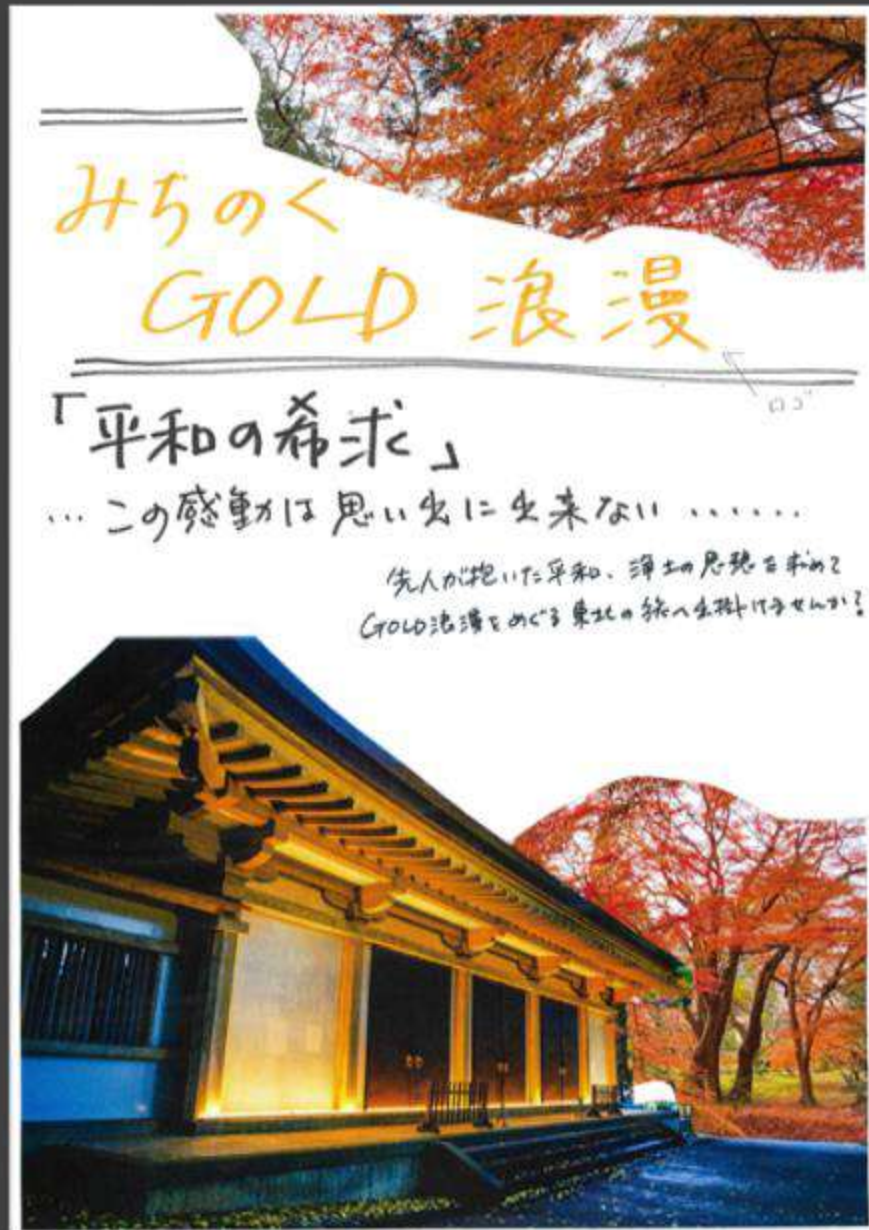


平安の時のままの平泉

作品 NO.	平泉 1
キャッチ コピー	みちのくGOLD浪漫 もう一つの金色堂 平安の時のままの平泉
写真	秋に色づいたの紅葉
メッ セージ	- 紅葉がちょうどいい黄色（金色）であり、金色は金色堂だけではないことを伝えたく、紅葉に色づいた紅葉を「もう一つの金色堂」と表現 - 建物ともみじ＝平安時代



作品 NO.	平泉 2
キャッチ コピー	燦然と輝く道を辿る光堂
写真	ライトアップされた紅葉の写真
メッセージ	平泉の場合は“光堂”や松尾芭蕉の“奥の細道”または“夢のあと”は「道をあと」の表現にかえてみたり、様々な表現でGOLDをイメージしやすいように工夫してみた。



作品 NO.	平泉 3
キャッチ コピー	「平和の希求」 ...この感動は思い出に出来ない... ～先人が抱いた平和、浄土の思想を 求めてGOLD浪漫をめぐる東北の旅 へ出掛けてみませんか？～
写真	
メッセー ジ	- 平泉＝「浄土の思想」があると思っ たので前面に打ち出した - 浄土の思想が平泉だけじゃない、 そのために金を運んだり採掘した 場所も含めて浄土の思想であり 平泉文化であることを打ち出した かった - 真っ青な空があったら思想が突き 抜ける感じがあってよかったが、青 が見つからなかったので、紅葉を切 り貼りしてみた

みちのくGOLD浪漫—黄金の国

平泉

中尊寺の夜
満喫



昼の金色堂
新発見



作品
NO.

平泉 4

キャッチ
コピー

「—みちのくGOLD浪漫—
黄金の国」
昼の金色堂新発見、
中尊寺の夜満喫

写真

メッセー
ジ

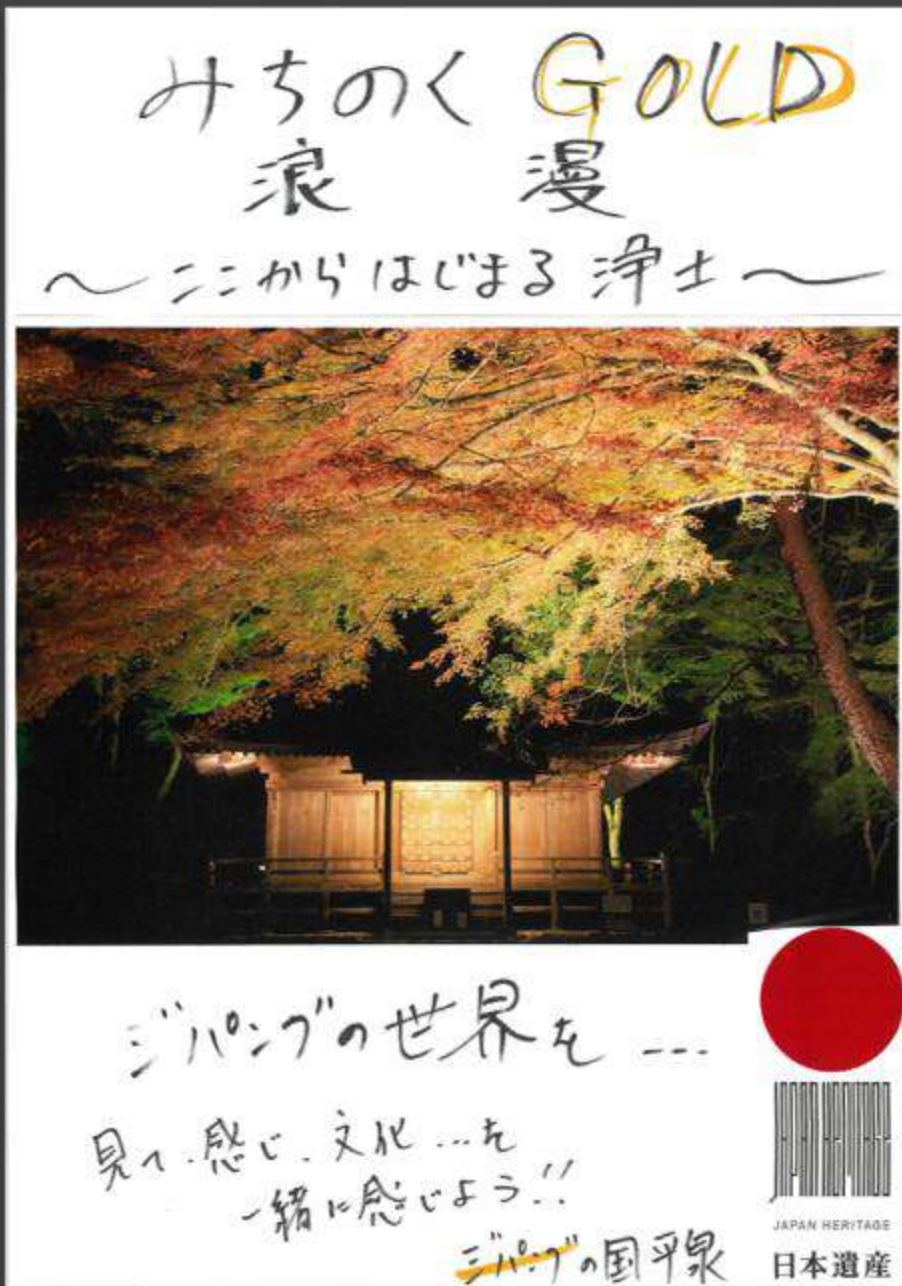
- 平泉のGOLD浪漫の昼と夜で違う顔を伝えたい
- 日本遺産の代表として金色堂は金の象徴
- いつも来てくれる昼より夜の異なる一面を伝えたい
- 他にももっと新しい魅力を発見できる可能性がある



作品NO.	平泉5
キャッチコピー	黄金の道、「黄金の時」
写真	
メッセージ	- イメージ① 「金色の光の中に続く“道”」 - 金の読み替え →黄金、光、輝きや浄土（価値が変わらないもの）の方が近い - イメージ② 「涌谷の金や平泉の金（東北の金）が世界にいていることを伝えたい」



作品 NO.	平泉 6
キャッチ コピー	みちのくGOLDろまん ～感動を～ 「四季折々に感じよう!!」 黄金の国平泉へ
写真	
メッ セージ	- 夜の水面に映る姿がGOLD浪漫の世界観を出しているように見える 「黄金の国平泉へ」→平泉を強調



作品NO.	平泉 7
キャッチコピー	みちのくGOLD浪漫 ～ここからはじまる浄土～ ジパングの世界を... 見て感じ文化を... 一緒に感じよう!! ジパングの国平泉
写真	平泉中尊寺経蔵
メッセージ	- 中央のライトアップを含めGOLD浪漫のイメージが出ている - ここからはじまる浄土の世界を、ここから想像してほしい想い



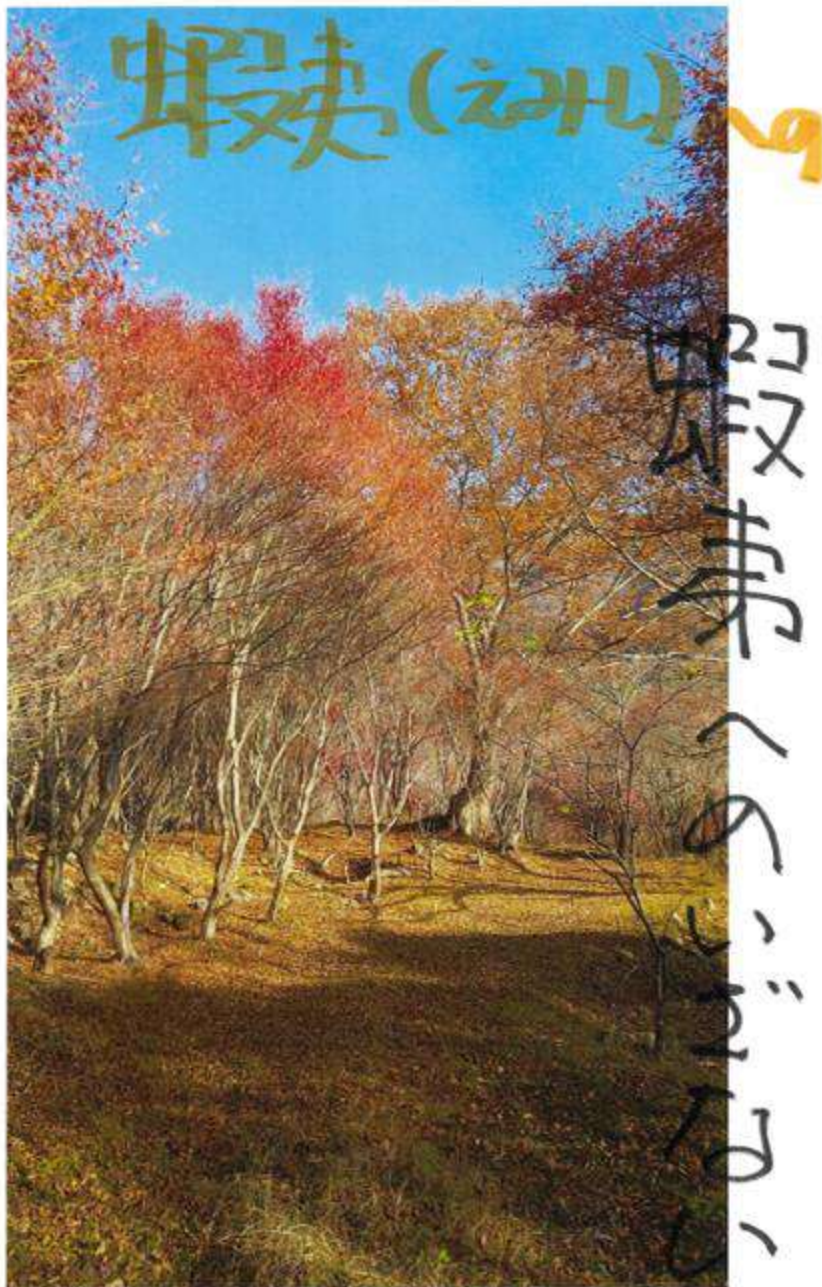
第3回 ツーリズムガイド人材育成
初級セミナー
ポスター作品 陸前高田



作品NO.	陸前高田 1
キャッチコピー	華やかなる金山跡
写真	玉山金山にある「千人坑」
メッセージ	この場所で、千人もの人が働いていた、華やかなイメージ



作品 NO.	陸前高田 2
キャッチ コピー	山の神への感謝
写真	玉山金山にある 「玉山神社入口」
メッセー ジ	• 金が採れた（金だけではないが） • 金山も含めてこの山を守ってくれていることへの感謝を表した



作品NO.	陸前高田 3
キャッチコピー	蝦夷（えみし）へのいざない
写真	「玉山金山」紅葉の風景
メッセージ	・ 奥行きがあって「蝦夷へのいざなう」という感じ ・ 誘い込むような感覚



いわて、
玉山の地から
「黄金」
物語の
入口へ

作品NO.	陸前高田 4
キャッチ コピー	いわて、 玉山の地から黄金物語の入口へ
写真	玉山金山 「玉山神社」
メッセージ	- 玉山は他の地域からすると弱い感じがしたので、“岩手”という言葉を用いた - 玉山の地から金山を辿る→黄金の物語の入口を示した、入ってみませんか？という表現にした



石川啄木の一握の砂と砂金をかけた
 砂山→玉山(金山)・砂→砂金・水晶
 玉山のいただきに登り
 なにがしに帽子を
 ふれ下り来しかな

作品 NO.	陸前高田 5
キャッチ コピー	玉山のいただきに登り なにがしに帽子を ふれ下り来しかな
写真	玉山金山 「玉山神社」
メッセー ジ	- 石川啄木の一握の砂と砂金をかけた - 砂山→玉山(金山)、砂→砂金や水晶 - 名だたる文化人の言葉を引用して、うまくお客様のイメージに沿って考えるとおもいろいろではないか

砂金のとれる溪流の写真

一握の砂金を示しし
人を忘れず

陸前高田歌碑になっている石川啄木の
一握の砂から引用して
そこには山や水晶、砂という言葉がよく出ている

作品NO.	陸前高田 6
キャッチコピー	一握の砂金を示しし 人を忘れず
写真	なし (砂金の採れる溪流の 写真があれば)
メッセージ	- 陸前高田歌碑になっている石川啄木の「一握の砂から」を引用した - そこには砂山や水晶・砂という言葉がよく出ているため陸前高田に近いイメージをもったため